

【NEWS RELEASE】

2020年2月5日
株式会社KADOKAWA

KADOKAWA・所沢市・所沢警察署が「地域安全に関する協定」を締結

株式会社KADOKAWA（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松原眞樹 以下 KADOKAWA）は、本日2月5日、所沢市（埼玉県所沢市、市長：藤本正人）および所沢警察署（埼玉県所沢市、署長：近藤佑一）と「地域安全に関する協定」を締結し、所沢市役所にて調印式を行いました。

本協定の締結は、本年7月、埼玉県所沢市東所沢において、KADOKAWAが日本最大級のポップカルチャーの発信拠点「ところざわサクラタウン」を開業するにあたり、当施設と周辺地域の防犯・交通安全活動を三者が連携し効果的に推進することを目的としたものです。

①協定締結の経緯

KADOKAWAは、みどり・文化・産業が調和した、誰もが「住んでみたい」「訪れてみたい」地域づくりを進める「COOL JAPAN FOREST構想」を所沢市と共同で策定、2016年6月10日に「COOL JAPAN FOREST構想の推進に関する協定」を締結いたしました。この協定に基づき、本構想の拠点施設であるところざわサクラタウンの建設を決定、2018年2月より工事を進めております。

ところざわサクラタウンでは、ミュージアムやイベントホール、飲食店などを訪れる地域住民のほか、国内外のアニメファン、外国人旅行者、本施設に勤務する従業員も含め、年間延べ150万人前後の来場者を見込んでおります。ところざわサクラタウンをはじめ所沢市内において、多数の来訪者と所沢市民の皆さまを犯罪や交通事故から守る必要性を三者が強く認識し、今回の協定締結に至りました。

②協定事項概要

KADOKAWAでは、以下の事項を推進してまいります。

- (1) 防犯・交通安全の意識向上に関すること
- (2) 犯罪行為・不審者情報の通報に関すること
- (3) 保護を要する人の発見・連絡に関すること
- (4) 防犯・交通安全の広報・啓蒙活動に関すること
- (5) 施設の環境整備に関すること
- (6) その他地域の安全活動に資すること

③具体的な取り組み

- ◆協定事項に遭遇した際、KADOKAWAおよびところざわサクラタウン内施設の従業員が速やかな行動が取れるよう、教育制度を整備（「認知症サポーター」養成講座、その他従業員講習の実施など）
- ◆ところざわサクラタウン施設内でのポスター掲示、告知スペースの提供、イベント実施サポート
- ◆「顔の見えるコミュニティ」を形成し犯罪者が入りにくい環境づくりを目指すため、ところざわサクラタウン内で地域との交流を図るお祭りやイベントなどを開催

本協定の締結により、KADOKAWAでは、所沢市民の皆さまが安心・安全に暮らせ、市外来訪者に対して魅力ある町を実現、COOL JAPAN FOREST構想が掲げるコンセプト「誰もが住んでみたい、訪れてみたい地域づくり」に貢献してまいります。



調印式にて、左から、所沢警察署 近藤佑一署長、所沢市 藤本正人市長、KADOKAWA 松原眞樹社長

■ところざわサクラタウンについて

KADOKAWAと埼玉県所沢市が共同で進める、みどり・文化・産業が調和した、誰もが「住んでみたい」「訪れてみたい」地域づくりを行う「COOL JAPAN FOREST構想」の拠点施設。書籍製造・物流工場やKADOKAWAの新オフィス、イベントスペース（「ジャパンパビリオン」「千人テラス」）、体験型ホテル（「EJアニメホテル」）、ショップ（「ダ・ヴィンチストア」）、レストラン（「角川食堂」）、商業施設のほか、角川文化振興財団運営の文化複合施設「角川武蔵野ミュージアム」も建設。2020年7月オープンの予定です。

●ところざわサクラタウン公式サイト：<https://tokorozawa-sakuratown.jp/>

■株式会社KADOKAWAについて

出版、映像、版權、デジタルコンテンツ、ネットワーク・エンターテインメント・サービスおよびコンテンツの企画・開発・運営、動画コミュニティサービスの運営などを行う会社の経営管理と、それに関連する事業などを幅広く展開しています。優れたIP（知的財産）の創出とメディア展開による拡充、デジタルトランスフォーメーション戦略の推進によって事業を最大化し、世界に誇る唯一無二のメガ・コンテンツ・パブリッシャーを目指してまいります。

以上

【本件に関する報道関係からのお問合せ先】
株式会社KADOKAWA 広報部
E-mail: pr-dept@kadokawa.jp
オフィシャルサイト <https://www.kadokawa.co.jp/>